



Seven Generations

2021(令和3年)年度 活動報告書

2022年2月

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ



セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : Mission & Value

Mission

わたしたちは、持続可能で公正な未来を実現するために、目覚め続ける世界市民のコミュニティを育みます。

Value

1. 人

この活動に参加するすべての人を尊重します。そして参加しないすべての人も尊重します。目指すビジョンを実現するのは人。かけがえのない人と人がここに集い、この活動がはじまりました。

2. つながり

すべての存在とのつながりを感じます。自分につながるすべての人。生きとし生けるもの。身の回りにある道具。自分が食する食べ物。そして地球。すべてのものとのつながりに思いを馳せます。

3. 対話

心を開いて対話することを実践します。お互いの心の中にある声に耳を傾け、お互いの人そのものに興味を持って言葉を紡ぎ合います。

4. プロセス

プロセスを大切に扱います。今、そこに葛藤があったとしても、プロセスを丁寧に踏むことで未来への智慧が見つかります。そしてその智慧の中から結果が自ら姿を現すことを信じます。

5. オープン

この活動の場はすべてオープンなスペースです。つまりこの場への出入りは自由であり、安心してそれぞれの想いに沿って活動・発言ができる自由があります。そして、この場にある智慧、情報、出来事は場の外に向けても開かれています。

6. 問い

常に問いを持ち続けます。言葉を手にした瞬間から「思い込み」がはじまります。さらに問いを持ち、言葉を更新し続けること。言葉にならないものに問いかけ、言葉にしていくことに挑戦します。

7. 体現

わたしたちは、わたしたちの願いを体現する集まりです。外に求めるだけでなく、謙虚に自分達のビジョンを自分達で示すことを意図して活動します。



セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 設立趣意書

【設立趣意書より抜粋】

私たちは、引き続き、すべての人が環境的に持続可能で、公正で、精神的に充足して生きる社会が同時に実現されるものであるということを、より多くの人々が理解し、意識や行動の変化を促すために、社会教育事業、人材育成助成事業、普及啓発事業、研究調査事業など各種の事業を行い、
智慧と力を合わせ、七世代先まで持続可能な市民社会を実現しようとしています。

「速く行きたいときは一人で行け、遠くへ行きたいときはみんなで行け」というアフリカのことわざがあります。私たちが実現しようとしている世界は、容易に実現できるものでなく、遠い目標であるかもしれません。しかしゆっくり進んでいく余裕もありません。私たちは「速く、遠くまで」行かなければならないのです。

▼特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ 設立趣旨書 (全文は [こちら](#))





セブン・ジェネレーションズ(SG)とは？ : 10周年を迎え、私たちは何者か

NPO法人セブン・ジェネレーションズ、法人化10周年の節目の年において、しっかりと組織の目的を握り直して進んでいくため、「私たちは何者か」ということをまとめました。

★なんのために存在しているのか(WHY)

NPO法人セブン・ジェネレーションズは「地球上のすべての人が環境的に持続可能で社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」を目指しています。

★どのように目的を達成するのか(HOW)

社会に大きな変化を創り出すために最小限必要な人の数(クリティカルマス:人口の3.5%)の「ゲームチェンジャー(社会変革の担い手)」が誕生し、つながりあうことで、目的が実現すると考えています。

★何をするのか(WHAT)

私たちは、提供している教育・啓発プログラムを通じて、目的の実現を担う「ゲームチェンジャー」とそのつながりを、統合的に育んでいきます。



目次

I. 基幹事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム … 8ページ
- ・ プログラム・フォー・トランスフォーメーション
(旧ファシリテーター・トレーニング) … 9ページ
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ … 10ページ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会 … 11ページ
- ・ 気候コミュニティアクショントレーニング … 12ページ

II. コミュニティを育む

- ・ セブン・ジェネレーションズ主催：
ほっとコミュニティコール/ウェルカムコール/パチャママコール … 14ページ
- ・ コミュニティメンバーの活動 … 15ページ
コミュニティ・ミーティング
コミュニティメンバー主催の対話会/コール/勉強会
コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動 … 16ページ



目次

Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト（法人化10周年企画）

- ・ 組織基盤整備プロジェクト … 18ページ
 - 事業連携プロジェクト/事務局業務の見える化/報酬支払いプロジェクト
- ・ SGファンドレイジング元年プロジェクト … 27ページ
- ・ 理事改選プロジェクト、理事選出管理委員会 … 19ページ
- ・ SGウェブサイトリニューアルプロジェクト … 19ページ
- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム企画
 - チェンドリオンラインコース（eラーニング化）プロジェクト … 20ページ
 - オープンソース化プロジェクト … 20ページ
 - 新マニュアル作成/ファシリテーター向け新プログラム（DEEP） … 9ページ
- ・ 企業展開検討プロジェクト（プロボノ助成） … 21ページ
- ・ 気候コミュニティアクショントレーニング … 12ページ

※注記:SGファンドレイジング元年プロジェクト、新マニュアル作成/ファシリテーター向け新プログラム(DEEP)、気候コミュニティアクショントレーニングについては別項目にて報告しています。お手数ですが該当ページをご覧ください。



目次

IV. 運営

- ・ 2020年度通常総会 …… 23ページ
- ・ 理事会 …… 24—25 ページ
- ・ 事務局 …… 26ページ
- ・ ファンドレイジング …… 27ページ
- ・ 広報 …… 28ページ
- ・ コンプライアンス …… 29ページ

V. 最後に

- ・ 寄付のお願い …… 31ページ
- ・ 共同代表理事メッセージ …… 32ページ
- ・ 法人概要 …… 33 ページ





I . 基幹事業

- ・ チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム
- ・ プログラム・フォー・トランスフォーメーション
(旧ファシリテーター・トレーニング)
- ・ ゲームチェンジャー・インテンシブ
- ・ 「アチュアルの夢」自主上映会
- ・ 気候コミュニティアクショントレーニング





チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

今期、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム(以下、チェンドリ)は 53回開催、合計 243名が参加しました。日本で2008年から提供されるようになって、14年間で累計は5,337名となりました。昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行の影響もあり、ほとんどが Zoomを用いたオンラインでの開催(内 2回は大学の授業内での大学生の皆様、内 1回は山梨の中学生の皆様、2回はNPO法人サービスグラント・ママボノプロジェクト様)で、対面による開催は7回(山梨県北杜市2、神奈川県川崎市、東京都港区、沖縄県久米島(内 1回は久米島町内の中学校様)2、愛知県長久手市(愛知県立大ゼミ生様))でした。

また2021年は、SG主催のチェンドリを毎月開催することを計画し、5月から12月まで計8回オンラインで開催することができました。主催チェンドリへの参加者数はのべ 41名で、ファシリテーターは11名(生田早智江2、風かおる、河合史恵2、木越省吾、桑原康平2、小谷真司、佐藤さわ、鈴木核2、野崎安澄、山田ヴァユ2、渡辺華乃)が担当し、事務局を佐藤さわ、岩瀬淑乃、桑原康平が担当しました。またGCI受講者(必須)のために馬場久美子、山田ヴァユ、風かおる、野崎安澄、桑原康平、塚田康盛が個別対応での対応をしました。

さらに14名のファシリテーター(宮本大輝、高橋安芸子、関口守、久保田あや、巖岩尚眼、鳥谷部愛、以下前記に重複、塚田、生田、桑原、山田、風、野崎、佐藤、小谷)が自主的に開催し、オンライン開催の増加および対面による多地域での開催が実現しました。

また統計記録を明恒次郎、チェンドリセット(ブレスレット&宣言カードなど)配送など事務所での対応を桑原が担当しました。後述しますが、チェンドリの eラーニングサイトがオープンし、クラウドファンディングのリターンでによる受講者を中心に 36名の方に受講登録していただきました。



ブレスレット

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム

私は、この地球上に生きるすべての人が
環境的に持続可能で、社会的に公正で、
精神的にも充足した生き方を実現できるよう
全力を尽くすことをここに誓います。



宣言カード

プログラム・フォー・トランスフォーメーション(旧ファシリテーター・トレーニング)



2020年度に引き続き、プログラム・フォー・トランスフォーメーション(PT)をオンラインのプログラムとして開催し、4名の新しいファシリテーターが誕生しました。旧ファシリテーター・トレーニング時代と合わせて12年間の累計で36回開催され、297人のファシリテーターが誕生しています。

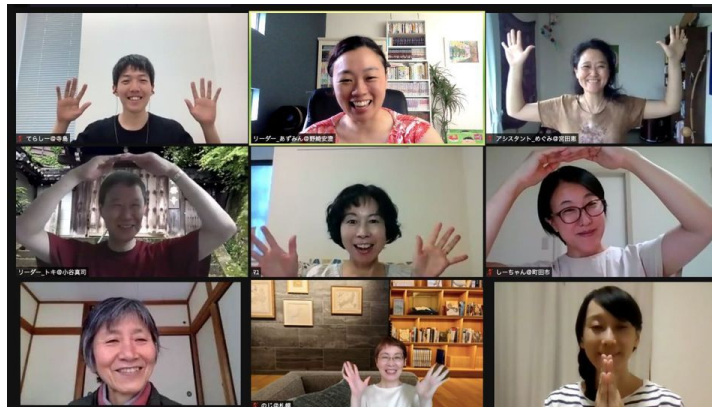
第36回チーム「太陽とHonesty」

メンバー自己紹介は [こちら](#)

日程: 5月29日(土)・30日(日)+6月26日(土)

場所: オンライン

寺島義智(てらしー)・野嶋成美(のじさん)
・村石しのぶ(しーちゃん)・渡辺華乃(はなちゃん)



トレーニングリーダー／サポートチーム

田島真紀、野崎安澄、法川繭子、宮田めぐみ、小谷真司
(上記敬称略)

【チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのファシリテーター支援新プログラムの開発とファシリテーターズマニュアルの改訂】

チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのe-Learningの提供開始によりシンポジウムの参加者が大きく増えることが想定され、それに伴ってシンポジウムを自ら開催して伝えたいという方も増えると予想されることから、ファシリテーターとしてシンポジウムを開催したいという人を支援する2つのプロジェクトを立ち上げて活動しました。いずれも、ファシリテーター・トレーニングリーダーチームとファシリテーターの中から有志のメンバーを募って進めました。

＜ファシリテーターを支援する新プログラムの開発＞メンバー: 塚田康盛、田嶋真紀、高橋安芸子、桑原康平、法川繭子、小谷真司
チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムを自分のコミュニティ等で伝えたいがいきなり開催するのは不安、という層を想定し、ファシリテーターとしてのbeing,doing,becomingを意識してもらえるようにというコンセプトでシンポジウム開催の背中を押すプログラム”DEEP”を開発し、12月にパイロット開催(8名受講)して概ね狙い通りのプログラムができたことを確認しました。

＜ファシリテーターマニュアル(ver.4)の改訂＞メンバー: 塚田康盛、二子渉、高橋安芸子、明恒次郎、小谷真司
従来のマニュアルは英語版の構成のままの翻訳で映像のスク립トが付録に収録されているなど初めての方には使いにくい面もあり、スク립トやオプションのエクササイズを本文に収めたり日本のファシリテーター向けの解説を追加したりと初めてファシリテートする方の目線に立ち使いやすく改訂しました。



ゲームチェンジャー・インテンシブ

★2021年1月期:

参加者計55名(新規34名、再参加12名、お世話係9名)
出席率85%、参加費(ドネーション)527,939円



★2021年6月期:

計35名(新規19名、再参加10名、お世話係6名)
出席率83%、参加費(ドネーション)287,000円



◎キーワード

運営体制実験、モジュールN、ドネーション制、ふらっとコール立ち消え、
本田健さん&リン・ツイスト対談イベントからの参加者増、日本語サイト移行、
盆踊り、NEXTプログラム:気候アクショントレーニング

スタッフ:

2021年度中にコアメンバーとして関わった方々:池山康之、山本倫、野田浩平、
馬場久美子、山田ヴァユ、村石しのぶ、桑原康平、犬飼孝紀、野崎安澄
サポーター:清野健太郎、関口守、佐藤さわ、風かおる



「アチュアルの夢」自主上映会

SGが地球の裏側のエクアドルとつながりを持ったのは、エクアドルのアマゾン熱帯雨林に住む、アチュアル族という先住民の呼びかけによるものでした。

彼らは、熱帯雨林の中で自然と共存して暮らしていますが、1980年代後半から石油や木材、鉱物を求める外部の人たちに生活を脅かされることになりました。

そのとき、アチュアル族は単に敵対するのではなく、地球の未来を守るため外の世界に協力を呼びかけたのです。

そして1995年、映画にも出てくるアメリカのNPOパチャママ・アライアンスの創設者リン・ツイストと出会いました。リンは地球上のすべての人が持続可能で公正で充足した生き方を実現するため「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」というワークショップを作り、世界に広めています。

そして、私たちは日本で「チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム」を展開しています。

2016年、アチュアルの元を訪れた際、映画を作ったのも、持続可能で公正で充足した未来を自分たちで創り出していく時に、エクアドルの自然や、人が、日本に住む私たちにインスピレーションを与えてくれると考えたからです。

2021年度は、この映画「アチュアルの夢」がオンラインで自主上映会を開催していただけるようになりました。プロジェクトリーダーの鳥谷部愛が移住先の沖縄・久米島の中学校で自主上映会を開催したほか、9月からオンライン自主上映会を月1回開催しています。

2022年度は、多くの方に届けるべく、自主上映会をオンライン・各地で開催していただきたいと考えています。

引き続きどなたでも自主上映会が開催できますので、興味がある方はinfo@sevendgenerations.or.jpまでお問合せください。



自主上映会は、以下の手順で開催できます。

- (1) 開催申請をする (<https://goo.gl/forms/6hK4PJCGmlmvPtLv>)
- (2) 開催する
- (3) 開催報告をする (<https://goo.gl/forms/15HNUjVdv7qb1ug03>)
- (4) 参加者(中学生以上) × 500円をセブン・ジェネレーションズへ払う

※ 参加費はご自由にお決めいただくことができます。

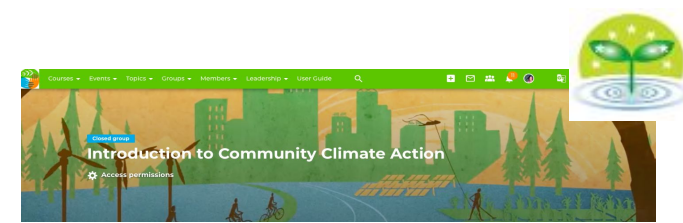
※ 注意事項

- ① イベントを立てるとき「自主上映会」とお書きください。
- ② 「NPO法人セブン・ジェネレーションズ共催」にしてください。

詳細はHPをご覧ください。

<https://www.sevendgenerations.or.jp/achuar-events>

気候コミュニティアクショントレーニング (ICCAT)



●気候コミュニティアクショントレーニング (ICCAT) とは

- ・10週間で展開されるオンラインコース(まだ正式なコースではなくパイロット版)
- ・気候変動に対するアクション経験のあるモデレーターが付き6名程度のグループ(最大日本では8名)をホールドする
- ・前半はbe-ing(あり方。地球・大地・住んでいる場所とのつながり)、中盤(コミュニティマッピング、ライブ研修セッション)、後半(you-me-weのコンセプトでのコミュニケーションに基づくコミュニティ内でのそれぞれのテーマの気候変動に対するアクションを実施
- ・毎週1回のコールでyou-me-weトークの練習・ロールプレイからアクションの報告、そして前半は在り方についての対話を行う

●4月期および9月期の2回実施しました。4月期14名・9月期15名参加

参加者の気候コミュニティプロジェクト例:

A: トランジションタウンの立ち上げ・活動推進

B: 地元の里山保全活動・ミツバチの活動への参加

C: 地域の地球温暖化防止委員とユースの活動家グループの連携

D: 行政への働きかけで、市役所を巻き込んでの映画上映会の開催

E: 2022年度勤務大学での気候危機テーマのセミナー開催(スピーカー3名招聘)



経緯: 2020年9月にパチャママアライアンスがコミュニティアクショントレーニングパイロット盤を実施。その成果を受け、その時の参加者をモデレーターに、2021年4月にコミュニティ気候アクショントレーニング(CCAT)と銘打ち、スタート。

日本語版は4月期(第1期)から翻訳してスタートし、大成功。

9月期(第2期)はパチャママアライアンスが2022年度に複数の新しいトレーニングをスタートさせる計画があることからIntroduction(入門)と付け、コミュニティ気候アクショントレーニング入門(ICCAT)としてスタート。



Ⅱ. コミュニティを育む

・セブンジェネレーションズ主催

- ・ほっとコミュニティコール
- ・ウェルカムコール
- ・パチャママコール

・コミュニティメンバーの活動

- ・コミュニティ・ミーティング
- ・コミュニティメンバー主催の対話会/コール/勉強会
- ・コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動



セブン・ジェネレーションズ主催： ほっとコミュコール/ウェルカムコール/パチャママコール



【ほっとコミュニティコール】ファシリテーター：桑原康平、野崎安澄

今年のほっとコミュニティコールは7月～12月に毎月、計11回開催しました。このオンラインコールは、会員に限らず、SGのコミュニティ内でのコミュニティメンバー同士でのコールの場です。各回3～8名の参加者でしたが、SG全体の動きや状況、お互いの活動を共有したり、日頃から気にかけていることについての対話を重ねたりすることでつながりを作ることができました。

【ウェルカムコール】ファシリテーター：桑原康平、野崎安澄

SGの各種ワークショップ参加者、新しく会員・ファシリテーターになられた方をウェルカムするためのコールを5月から新たに始め、計11回開催しました。以前より関わっている方は、ウェルカムする側で参加してもらっています。今後も新しい方のためのコールの場は持ちたいものの、対象としている新しい方の参加は少なく、どのようにすれば参加してもらえるか検討していきたいと考えています。

【パチャママコール】

今年も毎月アメリカのパチャママアライアンスとの情報共有のためのパチャママコールを通訳付きで行いました。

- 司会進行・日程調整 田嶋真紀・野崎安澄
- 通訳：佐藤ふゆお・関口守・俵山美絵・野田浩平・三宅しんご・村瀬まどか
- 書記：桑原康平・村石しのぶ・吉澤ひとみ





コミュニティメンバーの活動1

【コミュニティメンバー主催のコミュニティミーティング】

5、8、9、12月に計7回、理事改選プロジェクト(桑原康平/12月の回は巖尚眼さんとともに実施)の呼びかけにより、「理事改選」をテーマに対話会を行いました。このようなテーマに基づいた対話会は、コミュニティメンバーはコミュニティに呼びかけて開催できるものです。今後もたくさん開催されることを願っています。

【コミュニティメンバー主催の対話会/コール/勉強会】

- ・『ゲームチェンジ対話会』(毎週金曜朝、隔週火曜夜。GCI参加者対象):山田ヴァユ、犬飼孝紀
- ・『学びのかまど:吉田俊郎さんと学ぶ「サステナブルな暮らし」6回シリーズ』(1/6,1/20):カンパニア・河合史恵、吉田俊郎
- ・『学びのかまど:暮らしで使うSDGs』(1/29):カンパニア・河合史恵、赤塚丈彦
- ・『キリバス という国を知っていますか? 15歳でキリバス に恋して、日本人からキリバス 人になったケンタロさんに、南太平洋に浮かぶ島国の気候変動の現実を聞く』(2/13):Citizens' Climate Lobby Japan、カンパニア
- ・『本村綾さんに、市民の手による社会活動のいろはを聞いてみる』(2/23):カンパニア・河合史恵
- ・『サウルに聴く』(3/7):高橋安芸子、巖尚眼、桑原康平
- ・『ウェビナー アルカン・ルシュワラさんと春分点を尊ぶ』(3/20):パチャママ・アライアンス
- ・『田嶋マキさんに聴く/アチュアル族を訪ねて・旅物語』(3/29):高橋安芸子、巖尚眼、田嶋真紀
- ・『チェンジ・ザ・ドリーム 大学の演習で紹介してみたら...』シェア会(7/5):巖尚眼
- ・『広島原爆の日の前日に。明恒次郎さんのお話を聞く』(8/5):河合史恵、明恒次郎
- ・『協同労働という働きかた、活かし方』(9/27)ワーカーズコープワーカーズコープ主催(SGコミュ限定勉強会)
- ・映画『県民投票』から考える～これからの民主主義を問う～(9/14):VOICE and VOTE
- ・『八重山からの風～終戦記念日“を故潮平正道さんの語りとともに～』(8/15):カンパニア
- ・『“チェンジ・ザ・ドリーム(夢を変える)”? or “Awakening the dreamer(夢見ている人を目覚めさせる)”?』(10/26):巖尚眼



コミュニティメンバーの活動2

【コミュニティメンバーが関わっている団体、および活動】

NPO法人トランジション・ジャパン/認定NPO法人ブラーマ・クマリス/森と踊る株式会社/

アズワンネットワーク鈴鹿コミュニティ/NPO法人GEN-Japan(グローバルエコビレッジジャパン)/

ムーブメント・メディスン・ジャパン/ドローダウン・ジャパン・コンソーシアム/

ジョアンナ・メイシーつながりを取り戻すワーク/エクアドルKIMONOプロジェクトA ma la vida/

VOICE and VOTE/一般社団法人リ・ファッション協会/WeSpace/Citizens' Climate Lobby Japan/

フンダシオン・パチャママ(パチャママ・アライアンスのエクアドル支部)/一般社団法人カンパニア/

『僕らが変わればまちが変わり、まちが変われば世界が変わる ~トランジション・タウンという試み』(出版)/

ガイアジャーニー日本語版チーム/多様な学びプロジェクト/Regenerative Activism/トランジションタウンいなぎ・あさお/

トランジション・タウン文京/Coral Collあぼ(コラコラ<八重山の自然を守るローカル認証>)/

パーマカルチャーセンター八重山//トランジションタウン石垣

(上記、順不同)

参照:『新月通信』バックナンバー・ブログ:<http://sq-newmoon.blogspot.com/>



Ⅲ. セブン・ジェネレーションズのプロジェクト (法人化10周年企画)

- **組織基盤整備プロジェクト**
 - 事業連携プロジェクト/事務局業務の見える化/報酬支払いプロジェクト
- **SGファンドレイジング元年プロジェクト** (27ページ掲載)
- **理事改選プロジェクト、理事選出管理委員会**
- **SGウェブサイトリニューアルプロジェクト**
- **チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム企画**
 - チェンドリオンラインコース(eラーニング化)プロジェクト
 - オープンソース化プロジェクト
 - 新マニュアル作成/ファシリテーター向け新プログラム(DEEP) (9ページ掲載)
- **企業展開検討プロジェクト(プロボノ助成)**
- **気候コミュニティアクショントレーニング** (11ページ掲載)

※注記:SGファンドレイジング元年プロジェクト、
新マニュアル作成/ファシリテーター向け新プログラム(DEEP)、
気候コミュニティアクショントレーニングについては
別項目にて報告しています。お手数ですが該当ページをご覧ください。





組織基盤整備プロジェクト

前年に引き続き、理事や事務局のメンバーが交代しても業務が滞らない持続可能なNPOを目指し、理事と事業関係者や事務局メンバーが力を合わせて、組織基盤の整備を行いました。

【事業連携プロジェクト】

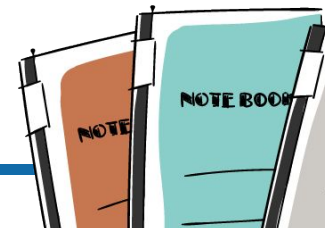
SGには、チェンドリ、GCI、PTなどなど、たくさんの事業があります。今まではあまり横の連携を取ることなく、それぞれの担当者がそれぞれの事業で完結するような形で進めていましたが、主としてスケジュールや広報の面で横の連携を密にし、SG全体としての「社会教育事業」を円滑かつ効果的に進めることを目指し、事業横断ミーティングを11月に開催しました。事業横断ミーティングは今後も継続的に開催し、さらなる事業連携をはかっていく予定です。

【事務局業務の見える化】

昨年、NPO法人として「やらなければならないこと」を再確認したのを受け、実際に今だれがなにをしているのかを明らかにするため、コミュニティメンバーの力を借りて、現在の事務局業務の見える化をしました。結果として、本来事務局が行うべき業務を理事が行っていることが浮き彫りとなり、「理事が行うべき業務」を明確にすることができました。事務局業務のほうは、NPO本体の事務、各事業の事務など、横の連携が必要なことも多く、前述の事業連携プロジェクトと併せて、引き続き事務局統合プロジェクトとして2022年も継続検討していく予定です。

【報酬支払いプロジェクト】

「無償のボランティアが前提」という文化を払拭し、関わるメンバーの持続可能性を意図した組織づくりのため、2020年に受け取った持続化補助金を財源に、関わってくれた人への報酬の支払いを進めました。が、まだまだ一般的な水準での支払いはできず、個々に見ると有償ボランティアレベルの報酬にとどまっています。今後は、引き続き補助金や助成金の獲得も目指しつつ、自主財源をしっかりと充実させ、継続的な報酬支払いができるよう検討していく必要があります。





理事改選プロジェクト/理事選出管理委員会/ SGウェブサイトリニューアル

【理事改選プロジェクト】メンバー: 桑原康平

持続維持可能で多様性が現れたセブン・ジェネレーションズの理事が選出されるために発足。

5月から7回の対話会と会員 & コミュニティメンバーに対しての意識調査のためのアンケートを実施

★アンケート結果詳細(31名回答) [アンケート回答集計1\(グラフ\)](#)・[アンケート回答集計2\(自由記述\)](#)

【理事選出管理委員会】委員: 姜佐知子、野底稔

弊法人の2年ごとの理事改選をより公正中立に執り行うために設立。

★[理事改選フロー](#)

★[理事募集要項](#)

★[募集結果報告1](#)、[結果報告2](#)

★[2次募集](#)、[結果報告](#)

【SGウェブサイトリニューアル】

SGウェブサイトのリニューアルを一部行いました。

ウェブサイトのサーバーの一本化と移行を会員の関谷朱桜実(ファティマ)さんの力を借りて無事に終えることができました。

またチェンジ・ザ・ドリームオンラインコースの提供が始まったことでチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムの紹介ページのリニューアルをおおせみちこさんにお願いました。

今後は広報チームで意見を募り、内容のブラッシュアップ、見易さ、理解しやすさなどの観点を元に、リニューアルしていく予定です。

▼NPO法人セブン・ジェネレーションズ HP

<https://sevengenerations.or.jp>





チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム企画

チェンドリオンラインコース(eラーニング化)/オープンソース化プロジェクト

【チェンドリオンラインコース(eラーニング化)プロジェクト】

たくさんの皆様のご協力を経て2021年10月1日にチェンジ・ザ・ドリーム オンラインコースを正式にオープンすることができました。ありがとうございました。映像内のプログラム進行役を松本享子様(中野笑店)、誘導瞑想のナビゲーターを齊藤茂一様(シグマセブン)、動画編集を黒川 真人様(クロカワ創商)、スタジオミキサーを笹 明日香様(東京録音)に担当いただき、日本語ができるようになりました。

関谷朱桜実(Nirvana Lab.: サイト構築)、関口守(翻訳)、五味(山本)麻子(翻訳)、森田 百合(校正)、野崎安澄(台本作成)、岩瀬淑乃(プロジェクトマネージャー)、桑原康平(プロジェクトマネージャー)。

まだご覧いただいていない方は、ぜひ[こちら](#)からご覧ください。
製作の過程は[こちら](#)と[こちら](#)からご覧いただけます。



【オープンソース化プロジェクト】

チェンジ・ザ・ドリームをオンラインコース化することに合わせて、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのマテリアル(映像、スライド、マニュアル)をチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム/オンラインコース受講者の内、希望登録者へ公開することにしました。

そのためにチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのマテリアルの見直しを行いました。チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムマテリアルに関しては、2019年のVer.4改訂時に日本語への翻訳のみ終了していましたが、最終確認および調整作業が大幅に遅れ、サイトの構築およびマニュアルの改訂の目途は立っていますが、まだオープンソース化は完了していません。今春オープンを目指しています。

<ファシリテーターマニュアル(ver.4)改訂> 塚田康盛、二子渉、高橋安芸子、明恒次郎、小谷真司、
<サイト構築> 関谷朱桜実(Nirvana Lab.)、<プロジェクトマネージャー> 桑原康平。

企業展開検討プロジェクト(プロボノ助成)

10月ー12月NPO法人サービスグラントさんの助成を受け、育休中のお母さんたちがプロボノとして関わってくれるママボノプロジェクトに参加。

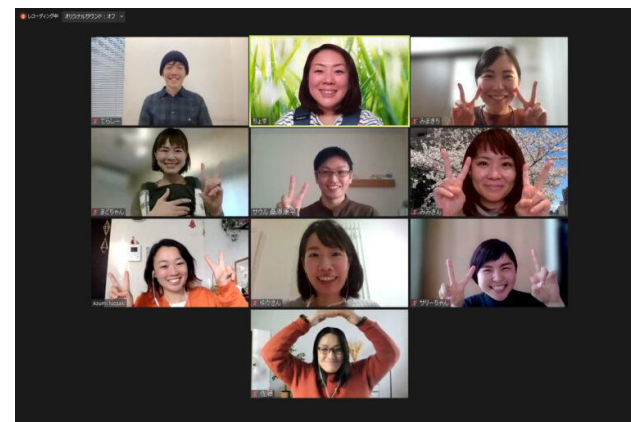
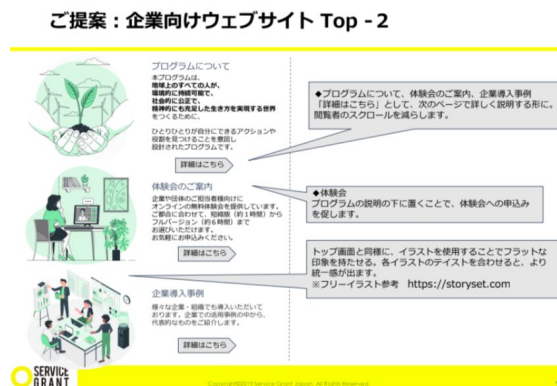
今回はNPO法人セブン・ジェネレーションズのプログラム”チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム(略称:チェンドリ)”を企業向けにどのように伝えていくか、ということを中心に、現状分析・マーケティング基礎調査をお願いしておりました。12月9日に無事に最終アウトプットをいただき、ご報告もいただきました。

ファシリテーターの皆さんにインタビューをしていただいたり、現状調査をしていただき、最終アウトプットとして、企業向けチェンドリの案内サイトのデザイン作成をお願いしました。

かなり丁寧に考えてくださり、あとはもうサイトを作るだけ！というくらいの出来栄え。

ママボノプロジェクトに関わってくださった寺島義智さん、桑原康平さん、佐藤さわさん、野崎安澄、そしてインタビューを引き受けてくださったファシリテーターの皆さん、ありがとうございました！

* 詳しい提案内容は [こちら](#) からご覧ください！





IV. 運営

- 2020年度通常総会
- 理事会
- 退任理事からご挨拶
- 事務局
- ファンドレイジング
- 広報
- コンプライアンス





2020年度通常総会

2/20(土)開催の第1部NPO法人セブン・ジェネレーションズ2020年度通常総会は、正会員69名中22名の出席および27名の委任により、69名の定足数の1/2以上の49名のご参加により成立し、開催できました。コミュニティからの参加者を含むと25名にご参加いただきました。

第1部の通常総会では、

第1号議案:2020年度の活動報告、会計報告、監査報告

第2号議案:監事の選任(桑原幸子)の審議を行い、可決されました。

第1部の司会は川田照義、議長は会場から選出された河合史恵、議事録署名人は会場から岩瀬淑乃、桑原康平、始まりの儀式は関口守、テクニカルサポートは佐藤さわ、会員および表決のカウントは野崎安澄が担ってくれました。

ありがとうございました。

2021年度は新しく監事になった桑原幸子
および昨年から引き続き大山裕之が役員任期
の2年目を二人体制で担ってくださいました。

詳細は[こちら](#)のブログ記事からご覧ください。





理事会

理事ミーティングを月2回実施

理事ミーティングを月2回+α実施しています。

理事は、全国各地バラバラに暮らしているため、全てZoomでのオンライン会議です。

時々参加できない人もいますが、アジェンダ・議事録やチャット・動画をみてキャッチアップします。

時間は原則90分で、あらかじめトピックを書き出しておき、緊急度と重要度の高いものから話しています。

また2021年度からは、2ヶ月に1回、監事とのミーティングも行い、SGの活動について報告もしました。

また、毎回のミーティング後に「まとめ動画」もしくは「まとめ記事」を副代表佐藤さわが作成し、

コミュニティ(Facebookグループ)向けに発信を続けました。

皆さんからコメントや反応をいただけるととても嬉しかったです。

『理事たちに見えている「今」や
理事たちが考えていることが、
コミュニティのみなさんに
ちゃんと届いてほしいなあ～』
と思っています。





退任理事からご挨拶

桑原康平(サウル)

2018年から2期4年SGの理事を務めさせていただきました。2019年からは野崎安澄さんとともに共同代表を担いました。この度、任期を終えて理事を退任致します。1期目就任時の目標は女性代表理事の誕生でした。幸いなことに1年で実現しました。それはひとえに初の女性代表を引き受けてくれた野崎さんとこれまで活動を支えてくれた女性のみなさんのおかげです。ありがとうございます。また2期目の立候補に際して、社会的公正さの実現と持続可能な組織づくりを目的とし、SG文化の醸成を担いました。コミュニティと組織の多様性の可視化、組織基盤強化のための組織整備、寄付文化の醸成、正会員やコミュニティメンバーへの主体的な活動参加の呼びかけ。どれもが支え、ともに活動してくれたみなさんのおかげです。理事の役割からは離れますが、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



佐藤さわ

前任期よりトータル4年間、SGの理事という大事な役目を勤めさせていただきました。2017年のGCI日本語版立ち上げの運営に関わらせていただいたことをきっかけに、あれよあれよという間に理事に就任させていただき、本当にたくさんのお話を学ばせていただきました。私の特性上、理事というよりは、雑務担当事務員としての役割がともしっくり来ていて、そういう仕事に喜びを感じてきました。その特性を生かし、任期中も NPO法人SGの事務局体制の整備を少しずつ進めてきましたが、これからは事務局メンバーとして、よりその役割に集中して頑張っていきたいと思っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



関口守

2018年より理事の末席に加えていただきました。何もしない名ばかりの理事を、それでもコミュニティに加えていただき、素晴らしい時間を共にしてくださった皆様に心から感謝いたします。思えば私が初めてチェンジ・ザ・ドリームシンポジウムに出会った2011年以降、世界は急速に、そして確実に持続可能で公正で充足したあり様へとシフトしてきているように感じます。それは、まるで世界の潮流が新しい物語を探求し、新しい物語を紡ぎだそうとしているかのようです。世界は、まだ希望で溢れています。

私自身は一身上の理由から、2021年中盤以降実質的には理事職を辞しておりましたが、この期間満了をもちまして正式に退任となります。しかし、セブン・ジェネレーションズ、そしてパチャママ・アライアンスが大好きなことには変わりありません。まだ様々な機会にお目にかかることもあるかと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。





事務局

前任事務局担当者の卒業後、瀬下貴子(シエナ)と会員管理を担当している本橋紀久子(きくこ)の2名におまかせしてきた事務局活動ですが、2021年度は桑原康平(サウル)と佐藤さわの2名が本格的に加わり、4名体制で、より適時かつ正確な事務局業務ができるよう、工夫を重ねた1年でした。

また昨年に引き続き半田志野に決算資料作成のサポートをしていただきました。

さらに、チェンドリ事務、コール事務、各業務(GCI、PT、ICCATなど)の事務の仕事を意識し、見える化し、意識的に横の連携を図ることを目指しました。

今後も引き続き、NPO法人組織を支える事務局体制の整備を進めていけるよう、検討しています。

活動内容

会計業務(入金管理、支払い)・会員管理(新規会員の登録、会員更新、入金の登録)を実施しています。

2021年度の成果

- ・事務局業務としてやるべきことが見えるようになってきて、担当者の交代にも対応できるタスクリストやタスクスケジュールが整備されつつあります。
- ・定期的なイベント等(チェンドリや各種コミュニティコール)が定常的に滞りなく進められました。
- ・適時の会計業務、会員管理(入会案内やデータ更新等)ができました。



ファンドレイジング

前年度より進めていた様々なプロジェクトが徐々に結実し、新しい試みにも駒を進めたチャレンジの多い年でした。事前に予定していた年間計画も無事に実行することができました。

【日本郵便年賀寄付金配分決定】

前年度に申請した助成金の配分が決定し、日本郵便より160万円の助成を受けました。この助成をチェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムのオンライン化のための資金としました。団体として初めての大規模な助成金獲得であり、事業が公的機関によって認められた形となったため、今後の継続的な助成獲得の足掛かりとなる実績になりました。

【チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウム オンライン化のためのクラウドファンディング成功】

前項の助成ではカバーできない団体の負担部分をクラウドファンディングの実施により獲得しました。192人の支援者により、目標を上回る160万円の資金が集まり、オンライン化にかかる全ての資金が整いました。関連団体のファンディングへの協力体制を通して、SGとして知識や経験を共に積んでいるため、当該プロジェクトではマネジメントを円滑に行うことができました。

【寄付月間への参加・賛同会員募集キャンペーン目標人数達成】

新しい試みとして、全国的な寄付推進キャンペーンである「寄付月間」に団体として賛同しました。キャンペーン期間に合わせて賛同会員募集を行い、目標の30名を上回る34名の新入会員をお迎えしました。今回は団体の会員募集にとどまりましたが、次年度は全国的ムーブメントに合流し、寄付月間にふさわしいテーマを掲げたイベントなどを計画予定です。

【デロイトトーマツ ウェルビーイング財団 助成金チャレンジ】

関連団体とのコレクティブ・インパクトを掲げ、デロイトトーマツの助成金に挑戦しました。結果として採択されるには至りませんでした。無償でプロボノの伴走支援を得ることができました。プロジェクトは進行しているため、実行資金の調達を次年度の課題としています。

SGのファンドレイジング業務はスタートを切ったばかりですが、需要は想像以上に多いと実感した一年でした。専門的知見があるスタッフの増員、アシスタント育成が今後の課題です。



広報

ブログ・SNS(Facebook/Twitter) 定期的発信を行いました

2018年からスタートした[ブログ](#)と、再開した[Twitter](#)・[FB](#)を定期的に更新し、情報発信を続けました。

FBページへのフォローは現在3,401人、Twitterのフォロワーは711人(2022年1月現在)となっております。

また各種イベントの告知・広報に加えて、新しいリーフレットもあります。ぜひご活用ください。

リーフレットご希望の方はinfo@sevengenerations.or.jp まで。

また、コミュニティメンバー・ファシリテーターが使える名刺もあります。

申請方法はこちらからご確認ください。

▼名刺運用ルール

https://docs.google.com/document/d/11Vf089pXXGTsedg-31EZrci6Zwu_iGKBeih95xBGWEk/edit

▼名刺ひな型申請フォーム

<https://goo.gl/forms/8YUuGmPdJ6WYobDg1>



新月通信

毎月新月の日にSGやコミュニティメンバーの情報を発信している新月通信。

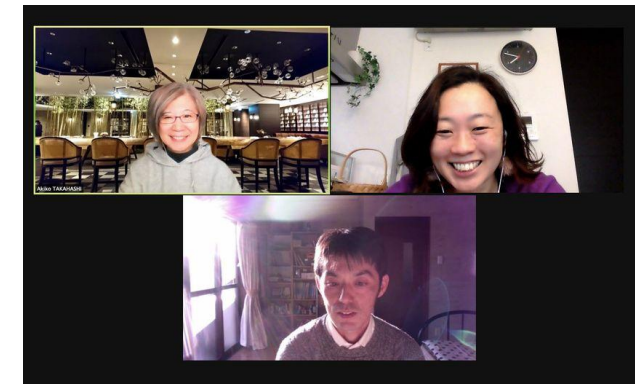
1,654人(2022年1月現在)の方に毎月お届けしています。

2021年は谷藤敏郎・高橋 安芸子に編集・送信を担っていただきました。

情報を載せたい方は newmoon@sevengenerations.or.jp までご連絡ください。

みなさまの情報をお待ちしています。

バックナンバーは[こちら](#)から





コンプライアンス

組織のコンプライアンス強化と対応

役員、各事業担当者、事務局向けハラスメント勉強会の実施

8/17(火)開催。14名参加

講師: 上田貴子弁護士、小谷幸日大准教授

2020年6月の職場におけるハラスメント防止のための法改正を受けて、昨今 NPOや社会活動領域でもハラスメントが顕在化し、問題となっている社会情勢もあり、コミュニティを形成し、事業を提供する立場として、今後組織内や活動において起きるハラスメントに対して自覚的に対応できること、仲裁に入れるようになるために実施いたしました。

個人情報保護法への対応

各事業担当者、従事者(セブン・ジェネレーションズ主催チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムの担当ファシリテーター、ゲームチェンジャー・インテンシブお世話係、気候アクションとレーニングモデレーターなど)、事務局、役員(理事、監事)、イベント担当者など 個人情報・秘密情報等の取り扱いを行うスタッフ、メンバーについては「重要情報の取り扱いに関する同意フォーム」を提出していただいています。

<https://goo.gl/forms/Kei2RUmUgyQnn4Kp1>

またセブン・ジェネレーションズのウェブサイト上に 2020年度からNPO法人セブン・ジェネレーションズの個人情報保護方針と個人情報保護規程を掲載しています。

NPO法人セブン・ジェネレーションズの個人情報保護方針

<https://drive.google.com/file/d/1C7E8CmdopB8Uo1EC72dMR2JdhqwsQzal/view>

個人情報保護規程

<https://drive.google.com/file/d/1xCND-wbGcMQocaXUwYtLDy1KoN6hYGTx/view>



V. 最後に

- 寄付のお願い
- 共同代表理事メッセージ
- 法人概要





寄付のお願い

2021年度は**266,039円**のご寄付をいただきました。

各地・オンラインで開催されたチェンドリや各種プログラムにご参加されたみなさまのおかげです。

また通常の寄付に加えまして、チェンジ・ザ・ドリーム シンポジウムオンラインコース製作のためにおこなったクラウドファンディングでは**1,616,000円**のサポートをいただきました。本当にありがとうございました。

2021年度はNPO法人設立10周年の年でした。東日本大震災の起こった2011年に誕生したNPO法人セブン・ジェネレーションズ。この10年で世界・社会の価値観も大きく変わり始めています。当時は一部の人たちだけが声をあげていた地球環境の持続可能性や気候危機、社会における不公正などが、SDGsと言うキーワードとともに社会に浸透しつつあります。

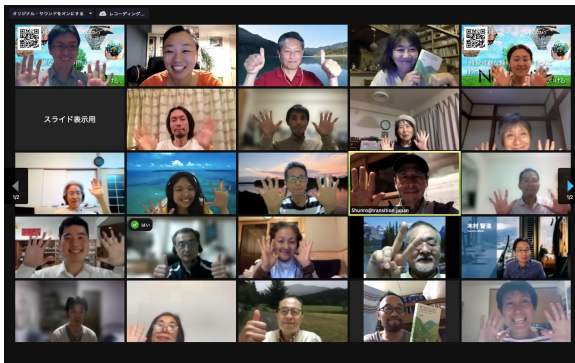
次の10年、さらに「地球上すべての人が、環境的に持続可能で、社会的に公正で、精神的に充足した生き方を実現」できるように、社会変革の担い手であるゲームチェンジャーを増やし、持続可能な社会の実現を目指して行きます。

私たちが本当に望む世界をともに実現していきましょう！どうぞよろしくお願いいたします。

今後の活動の広がりと継続のためにご寄付を随時受付けております。

▼ご寄付はこちらのページからお願いします！

<https://www.sevengenerations.or.jp/donate>





共同代表理事メッセージ

野崎安澄(あずみん/共同代表)です。

2021年はみなさんにとってどんな一年でしたか？私にとってのキーワードは『育む』1年でした。GCIのスマールグループに始まり、5月のプログラム・フォー・トランスフォーメーションのトレーニングリーダー、4月と9月の気候コミュニティアクショントレーニングのモデレーターと、ゲームチェンジャーのみなさんと関わり続け、対話し、背中を押し、押ししてもらい、感動と学びと気づきをもたらった一年でした。セブン・ジェネレーションズ(SG)以外の活動の場でも、野菜を育み、お米を育み、小学生～大学生たちとの関係を育み、地元でのコミュニティとの繋がりを育み、芽吹いていくタネを育む喜びを感じた1年となりました。同時に、長男が受験・部活の最高学年の年となり、家族のサポートと仕事のバランスに四苦八苦した1年でもありました。また同じように家族のサポート(育児、介護、家事etc.)とアクティビストとしての活動のバランス、報酬を得る仕事と活動とのバランスに悩む仲間たちの声もたくさん聞きました。答えはありませんが、SGは環境と社会公正と同時に、すべての人の精神的充足が実現する世界を目指していて、そのみなさんには自分自身も含まれています。自分自身へのケアを最優先にしてこれからも活動続けていきましょう！



桑原康平(サウル/共同代表)です。

2021年はセブン・ジェネレーションズ(SG)にとって、自らを成長させる領域に居続けた年でした。当初は組織の基盤整備のために落ち着いた年になるはずでしたが、この1年で数年分の活動することになりました。詳細はぜひこの活動報告書をご覧くださいとて、それらを実現できたのは様々な形で活動に加わり、時間とお金と祈りを分かち合ってくださったみなさんのおかげです。今年度で共同代表とともに理事を退任します。SGは「地球上のすべての人が環境的に持続可能で社会的に公正で、精神的にも充足した生き方を実現すること」を目指しています。社会に大きな変化を創り出すために最小限必要な人の数(人口の3.5%)の「ゲームチェンジャー(社会変革の担い手)」が誕生し、つながりあうことで、その目的が実現すると考えています。これからもその目的の実現を担う「ゲームチェンジャー」とそのつながりを、SGが提供するプログラムを通じて統合的に育てていきます。今後もその一員として活動し続けて行きます。どうか引き続きよろしくお願ひ致します。



法人概要

1. 名称

特定非営利活動法人セブン・ジェネレーションズ

2. 成立

2011年3月15日

3. 事務所所在地

東京都文京区

4. 連絡先

メールアドレス info@sevengenerations.or.jp

5. 会員数(2021年末現在)

正会員個人 86名

賛同会員個人 103名 賛同会員団体 2団体

6. 役員

代表理事 野崎安澄 桑原康平

副代表理事 佐藤さわ

理事 岩瀬淑乃 川田照義 関口守

監事 桑原幸子 大山裕之

* 公式ホームページ

<https://www.sevengenerations.or.jp/>

* チェンジ・ザ・ドリーム紹介ページ

<https://sevengenerations.or.jp/course>

* ゲームチェンジャー・インテンシブ公式ホームページ

<https://gci-japan.com/>

* 公式ブログ

<https://www.sevengenerations.or.jp/blog>

* Facebook公式ページ

<https://www.facebook.com/7generations.jp/>

「いいね！」よろしくお願いします！

* Twitter

https://twitter.com/7generations_jp

フォローよろしくお願いします！！